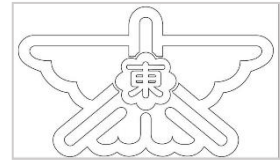




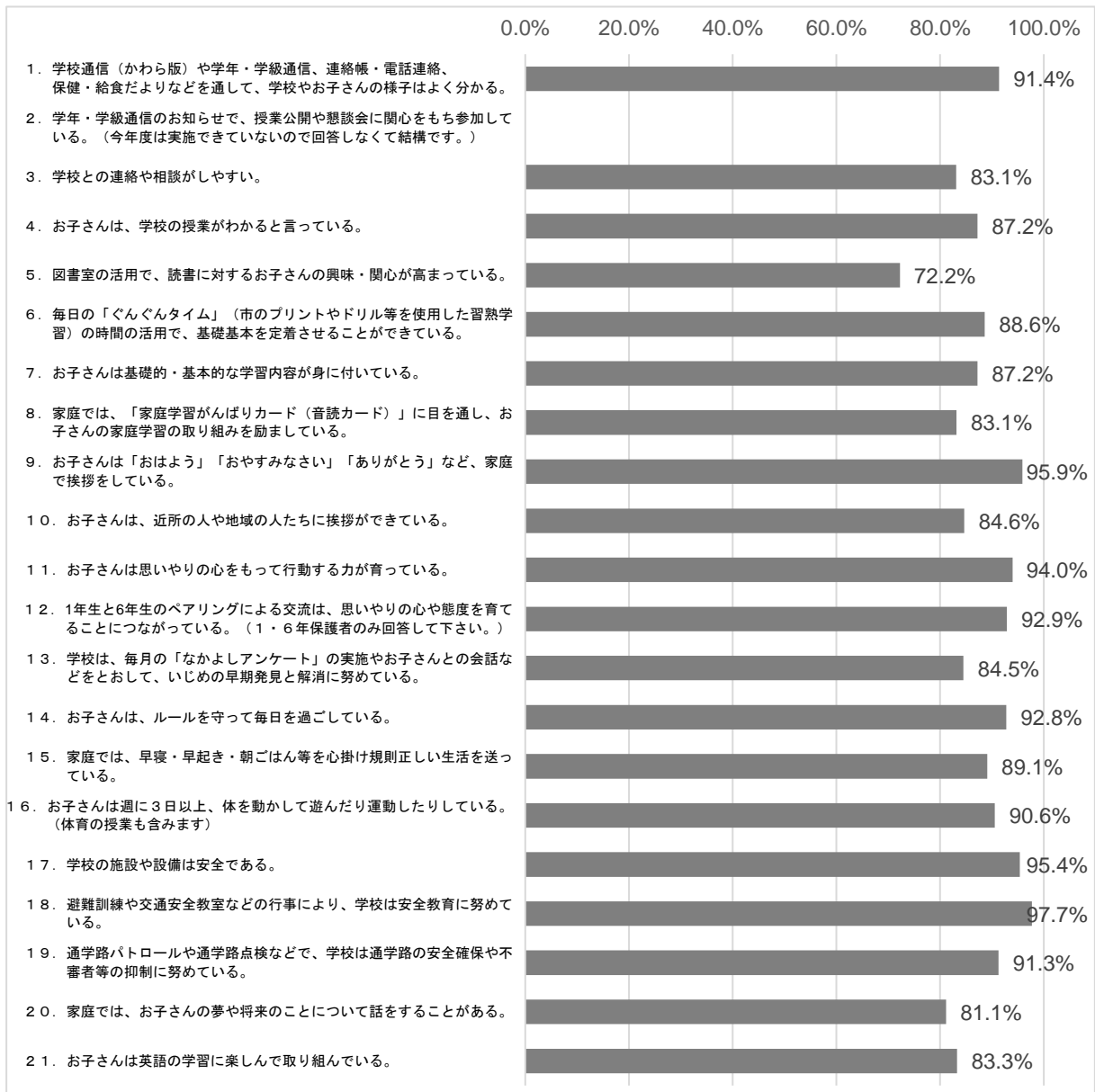
- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子



令和4年12月16日

第2回学校評価保護者アンケート結果

過日実施いたしました、学校評価保護者アンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。割合は、「よい」と「おおむねよい」の合計です。



<保護者アンケートの結果から>

学校評価アンケートでは大変お世話になりました。今年度からWEBアンケート形式にか

わり、児童数456名中267件回答が寄せられました。アンケート回収率は59%でした。

ほとんどの項目で第1回とほぼ変わらぬ評価をいただくことができましたが、評価が下がってしまった項目もありました。第1回アンケートと比べて3%以上評価が下がった項目が「4 お子さんは、学校の授業が分かると言っている。」「5 図書室の活用で、読書に対するお子さんの興味関心が高まっている。」「8 家庭では、家庭学習がんばりカード（音読カード）に目を通し、お子さんの家庭学習の取り組みを励ましている。」の3項目でした。お子さんを通して学校教育に関心を持っていただいている結果であると考えています。この結果を真摯に受け止め改善していきます。

第1回のアンケートの結果から重点項目とさせていただいた項目について結果の考察をさせていただきます。

いじめの予防、早期発見・解消に努める（13番）

「学校は、毎月の『なかよしアンケート』の実施やお子さんとの会話などをとおして、いじめの早期発見と解消に努めている。」は、前回の86.6%から84.5%とやや下がりました。

なかよしアンケートを含む子どもたちからの訴えに対しては、迅速に確認をし、一定期間の継続的な観察・指導を行っています。このことにつきましては今後も担任だけでなく学校全体で取り組んでいきます。

伊勢崎・佐波地区いじめ防止フォーラムを受け、学校では「2022年いじめ防止集会～みんな考えよう～」を開催しました。代表委員会が考えたいじめの場面の紙芝居を見て、どう思ったか、どうすればよいかみんな考えました。

人権集会では、いじめ防止標語の学年代表児童が、自分が作った標語とその言葉を書こうと思った理由を発表し、全校児童がしっかりと聞きました。このような全校児童の共通の活動を大切にすると共に、その場限りにせず、機会を捉えて振り返っていきます。

また、いい心の木の活動により、周囲に親切にすることの大切さを感じ、進んで行動に移せるように促していきます。また、道徳や学活等の授業の中で、思いやりや親切について改めて取り上げ、児童が考える時間を計画的に設けていきます。

事前防止として、日常から子どもたちと保護者のみなさまから相談しやすい環境を整え、いじめが発生した際には担任から学年主任、生徒指導部、管理職と連携を図り、迅速に対応していきます。

<児童用アンケートの結果から>

夢や将来のことを話す（23番）

児童用アンケートの「家庭で、お家の人と自分の将来について話をすることがある」の項目ですが、今回も目標値を下回ってしまいました。保護者用アンケートでは同項目は目標値を達成しました。保護者の皆様のご家庭で将来の話をして下さっている様子がわかり、大変ありがたいです。学校での指導では6年生で「将来の夢を語ろう。」と題して、保護者の皆様にアンケートやインタビューをしながら将来の夢を考えるときのポイントを学習しております。また、図工の授業で「未来の自分」という題で紙粘土作品の制作もしています。今後も折に触れて、その子のよさや将来の夢などを話題にしていきたいと思います。